



## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2023年1月30日

上場会社名 東邦金属株式会社 上場取引所 東  
コード番号 5781 URL <https://www.tohokinzoku.co.jp>  
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)小樋 誠二  
問合せ先責任者 (役職名)総務部部长 (氏名)西崎 友彦 (TEL)06(6202)3376  
四半期報告書提出予定日 2023年2月13日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	3,567	△30.7	170	△72.9	189	△70.9	192	△64.3
2022年3月期第3四半期	5,150	71.0	628	891.9	652	424.8	539	368.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	83.09	—
2022年3月期第3四半期	232.70	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	6,216	3,212	51.7
2022年3月期	5,800	2,989	51.5

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 3,212百万円 2022年3月期 2,989百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	—	—	0.00	0.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,800	△25.0	200	△70.8	225	△68.2	240	△60.1	103.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	2,338,001株	2022年3月期	2,338,001株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	19,684株	2022年3月期	19,634株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	2,318,354株	2022年3月期3Q	2,318,406株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間(2022年4月1日～2022年12月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大が繰り返されたものの、厳しい行動制限を伴う措置は講じられず、ウィズコロナに向け、社会経済活動が正常化に進んだことから、景況感の改善がみられております。

しかしながら、ロシア・ウクライナ情勢の長期化による資源エネルギー価格の上昇、内外金利差拡大に伴う急激な円安進行による輸入物価の上昇等により、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

海外においては、中国におけるゼロコロナ政策の転換による需要回復が期待されるものの、欧米諸国におけるインフレ進行に対応する金融引き締め等により景気減速懸念が一段と高まっております。

このような状況下、当社は安定した利益の確保を最重要課題に掲げ、原材料等の高騰に伴う適正価格での販売、原材料の安定調達及び材料歩留改善、生産性改善、購入価格低減、固定費削減等の原価低減活動に注力いたしました。

売上高は、前期に引き続き国内唯一の一貫生産を行っているタングステン・モリブデン製品の需要は底堅く販売は好調を持続しています。しかし貴金属電極における代替製品への切替が進んだことによる販売数量の大幅な落ち込みが響き、前年比30.7%減の3,567百万円(前年同四半期 5,150百万円)となりました。

損益面は、原価低減活動に努めたものの、売上高の大幅な減少により、営業利益170百万円(前年同四半期 628百万円)となりました。

営業外収益は受取利息及び配当金等により38百万円となり、営業外費用は支払利息、為替差損等により18百万円となりました。

結果、経常利益は189百万円(前年同四半期 652百万円)、四半期純利益は192百万円(前年同四半期 539百万円)となりました。

セグメント区分別の状況は、次のとおりであります。

#### (電気・電子)

タングステン・モリブデン製品の売上高は、前期から引き続き半導体市場での旺盛な需要に支えられ、好調に推移したことにより、1,525百万円(前年同四半期 1,153百万円)と32.2%の増収となりました。

焼成品の売上高は、貴金属電極において当社新製法による産業用特殊電極部品は安定受注に成功したものの、材料高騰による自動車用電極部品での他材料への切替が進み、販売数量が大幅に減少したことにより、1,690百万円(前年同四半期 3,658百万円)と53.8%の減収となりました。

この結果、電気・電子合計の売上高は、3,215百万円(前年同四半期 4,811百万円)と33.2%の減収となり、営業利益166百万円(前年同四半期 640百万円)となりました。

#### (超硬合金)

超硬合金の売上高は、AGF補助工法によるトンネル工事が復調し、351百万円(前年同四半期 338百万円)と4.0%の増収となり、営業利益4百万円(前年同四半期 営業損失12百万円)となりました。

なお、当社では、貴金属電極における自動車用電極部品の他材料への切替に対応するため、新材料での自動車用電極部品の開発を強化し、来期以降に市場投入できるよう、進めております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (流動資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は3,944百万円(前事業年度末 3,581百万円)となり、363百万円増加しました。主たる要因は、電子記録債権の増加87百万円、原材料及び貯蔵品の増加70百万円及び仕掛品の増加70百万円によるものであります。

#### (固定資産)

当第3四半期会計期間末における固定資産は2,271百万円(前事業年度末 2,219百万円)となり、51百万円増加しました。主たる要因は、投資有価証券の増加73百万円によるものであります。

#### (流動負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は1,899百万円(前事業年度末 1,683百万円)となり、215百万円増加しました。主たる要因は、支払手形及び買掛金の増加192百万円によるものであります。

#### (固定負債)

当第3四半期会計期間末における固定負債は1,104百万円（前事業年度末 1,127百万円）となり22百万円減少しました。主たる要因は、役員退職慰労引当金の減少74百万円によるものであります。

（純資産）

当第3四半期会計期間末における純資産は3,212百万円（前事業年度末 2,989百万円）となり222百万円増加しました。主たる要因は、四半期純利益192百万円及びその他有価証券評価差額金の増加30百万円によるものであります。

### （3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績予想につきましては、当第3四半期累計期間の状況が継続する見込みであり、2022年10月27日に公表いたしました通期業績予想を上方修正いたしました。

詳細につきましては、本日別途公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	493,190	530,758
受取手形及び売掛金	1,228,804	1,230,934
電子記録債権	176,783	264,024
商品及び製品	75,209	82,674
仕掛品	904,300	974,920
原材料及び貯蔵品	658,041	728,848
その他	44,694	132,702
流動資産合計	3,581,024	3,944,863
固定資産		
有形固定資産		
土地	782,785	782,785
その他(純額)	628,865	610,837
有形固定資産合計	1,411,651	1,393,622
無形固定資産		
	1,090	643
投資その他の資産		
投資有価証券	734,712	808,543
その他	78,586	74,940
貸倒引当金	△6,350	△6,350
投資その他の資産合計	806,949	877,134
固定資産合計	2,219,691	2,271,400
資産合計	5,800,716	6,216,264
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	141,178	333,795
電子記録債務	306,866	352,068
短期借入金	830,000	970,000
未払法人税等	99,023	1,801
賞与引当金	1,120	46,650
その他	305,441	194,836
流動負債合計	1,683,630	1,899,152
固定負債		
長期借入金	580,000	530,000
退職給付引当金	286,568	295,499
役員退職慰労引当金	74,995	-
その他	186,137	279,474
固定負債合計	1,127,701	1,104,973
負債合計	2,811,331	3,004,126

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,531,828	100,000
資本剰余金	237,794	2,492,586
利益剰余金	△177,036	192,639
自己株式	△28,087	△28,132
株主資本合計	2,564,499	2,757,093
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	424,885	455,044
評価・換算差額等合計	424,885	455,044
純資産合計	2,989,384	3,212,137
負債純資産合計	5,800,716	6,216,264

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	5,150,008	3,567,462
売上原価	4,132,802	3,028,605
売上総利益	1,017,205	538,856
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び手当	154,291	150,441
賞与引当金繰入額	14,691	11,996
役員退職慰労引当金繰入額	8,850	3,215
退職給付費用	8,821	9,233
減価償却費	13,427	10,732
その他の一般管理費	188,667	183,107
販売費及び一般管理費合計	388,750	368,724
営業利益	628,455	170,131
営業外収益		
受取利息及び配当金	21,158	25,648
助成金収入	13,185	10,570
その他	7,365	2,206
営業外収益合計	41,709	38,425
営業外費用		
支払利息	16,035	9,820
為替差損	-	8,833
その他	1,707	79
営業外費用合計	17,742	18,733
経常利益	652,422	189,824
税引前四半期純利益	652,422	189,824
法人税、住民税及び事業税	110,479	5,405
法人税等調整額	2,440	△8,220
法人税等合計	112,920	△2,815
四半期純利益	539,502	192,639



(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年6月28日に開催の第72回定時株主総会の決議に基づき、当第3四半期累計期間において資本金の額2,431百万円を減少し、この減少額全額をその他資本剰余金に振り替えるとともに、その他資本剰余金177百万円を繰越利益剰余金に振り替えることにより、欠損填補いたしました。